

しなののうた

わが海馬をくすぐりすぎ  
る春一番 心騒げる  
甘きさとさやき

l.MI

杉田小百合

しなののうた

放埒のわが身惑わす春一番  
夜の嵐がくさび打ちくる

杉田小百合



しなののうた

春を呼ぶ菜花を食めば故郷の母と摘みにし幼な日浮かぶ



杉田小百合

しなののうた

ころころと笑っているかのプリムラの桜の色に艶めき覚ゆ

杉田小百合

